

日本語母語話者に韓国語の2字漢語動詞を体系的に 提示するための取組みについて

尹 亭 仁

キーワード：韓国語教育，日本語母語話者，語彙，2字漢語動詞，体系的提示，言語景観

1. はじめに

外国語教育において、語彙教育は文法教育とともに「段階的導入」と「体系的提示」が重要である。とくに日本語のように、和語、漢語、外来語、混種語といった語種の多様な言語の場合、外国語の語彙の導入には日本語の語彙の特徴を考慮した上での導入方法と提示の工夫が必要である。これらの導入と提示には語種とともに名詞・動詞・形容詞といった品詞や初級・中級・上級といった学習レベルも関係する。

日本の大学における韓国語教育の場合、初級レベルでは500～1000語の語彙が導入されている。これらの導入語彙数の幅の違いから分かるように、初級レベルといえども、扱う文法項目も、取り上げる内容も大きく異なる。中級以上になるとこの語彙数の幅はさらに広がる。

筆者は、日本の大学での韓国語の語彙教育において、最も多い語彙数を占めている漢語、とりわけ2字漢語動詞の段階的導入、取組み、活用に力を注いでいる。一連の研究の成果を踏まえ、2021年度より本学の韓国語の初級共通教材に1章を設け漢語動詞を取り上げている。これは従来の韓国語の教材にはない取組みである。筆者はこれの効果に期待を寄せつつ、中級・上級レベルでの導入方法や導入語彙の選定基準を模索している。

本稿では、日本の大学での韓国語教育になぜ漢語動詞の段階的導入が必要なのかについて論じ、有効な取組みについて、次の順序で考察を進める。

第2節では、先行研究について考察する。

第3節では、漢語動詞の需要と体系的提示の必要性について論じる。

第4節では、段階的導入と体系的提示の取組みについて取り上げる。

第5節では、言語景観を用いた漢語動詞の補強について述べる。

第6節では、今までの考察をまとめる。

2. 先行研究の考察

漢語動詞は日韓両言語に共通する動詞の下位グループである。尹亭仁・車香春（2014）では、日本語母語話者のための48,000語規模の学習用辞書である『デイリーコンサイス韓日辞典』（2009）に載っている見出し語の分析から約5,330の2字漢語動詞の語数を提示している。韓国の国語辞典の場合、学習用辞書より見出し語の母数が多いため、筆者は追加の蒐集作業を行なった。それによると、2字漢語動詞は7,000語を超えている。日本の73,000語規模の『デイリーコンサイス国語辞典』（2010）に載って

いる見出しの漢語動詞は 7,240 語で、韓国語と同様に、7,000 語を超えている。

このように語彙数の多い漢語動詞を韓国語の授業に段階的かつ体系的に導入するためには、語彙調査とそれに基づく適切な語彙選定が必要である。管見によれば、日本で使用されている韓国語の教材の場合、語彙調査やそれに基づいた語彙選定が十分に行われていない。教材作成の場合、初級レベルまたは中級レベルで求められる文法項目に合わせて、チャプターの構成をし、文法と語彙を組み合わせる形で会話文や用例が作られる。そのため、教材に用いられる語彙数は制限されたり文がやや不自然になったりする。

実際、日本の大学で使用されている韓国語の教材の場合、用いられている漢語動詞は多くない。筆者の調査によると、2 冊のシリーズのテキストにおいて漢語動詞は初級レベルで 11 語、中級レベルで 43 語用いられていた。シリーズで 3 冊出ている教材の場合は、漢語動詞が初級レベルで 8 語、中級レベルで 23 語、上級レベルで 99 語用いられていた。『日本語基本動詞用法辞典』（1989）には 728 語の基本動詞が取り上げられており、漢語動詞は 169 語である。とりわけ、2 字漢語動詞は 165 語である。2～4 年間、約 150 語の漢語動詞を習得することになり、語彙数のみで見た場合、日本語の基本動詞とされる 165 語よりも少ない語彙数を学習することになる。これには、多くの韓国語の教材が会話文を中心に編まれていることが関係していると思われる。

『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』（2019）には約 50 の漢語動詞が載っているが、索引リストには漢語動名詞のみ載っている場合（회의／会議・회화／会話）や漢語動名詞と漢語動詞が別に載っているもの（도착／到着・도착하다・대답／答え・대답하다）もある。さらに、金京子（2022）の索引には、約 125 の漢語動詞が提示されているが、中には「命令する」「実施する」「誤解する」のように明らかに漢語動詞であるものも「명령命令」「실시実施」「오해誤解」の漢語名詞のように提示されている。本文に漢語動名詞の用法で用いられている「주문注文」や「취소取消」は「하다動詞は（하）と表記し、「する」は省略した」と原則を述べているが、「주문（하）」「취소（하）」と提示されているので、原則が分かりにくい。さらに、一部の漢語形容詞、例えば「무의미（하）無意味」は漢語動詞と同じ提示方法になっている。

このような現状を改善するためには日本で準拠できる「基本漢語動詞」の策定と提示が急がれる。両言語ともに有している 7,000 語規模の漢語動詞のリストを適切な語彙数を以て教育用資料として現場に還元すべきであると思っている。

3. 漢語動詞の需要と体系的提示の必要性

日韓両言語において、漢語動詞は最も共通性の高い語彙群である。そのため、活用次第、語彙力を飛躍的にとまでは言えないにしてもかなり上げられる要素である。漢語は両言語の学習者がすでに持っている「言語資産」とも言える。

以下では、日本の大学の韓国語教育において漢語動詞の現実的需要と段階的導入の必要性について論じる。

3.1 韓国語授業の「読解」での役割

筆者は 2021 年度、前期と後期、韓国語初級 2 クラス、中級 2 クラス、上級 1 クラスを担当している。前期のみの中上級クラスも 1 つある。

初級クラスの場合、2 種類のテキストを使っており、会話を中心とするクラスでは私家版のテキストを、文法を中心とするクラスでは市販のテキストを用いている。初級クラスの場合、いずれも「読解」というパートは設けていないが、最初の段階から「料理する」「無理する」「無視する」「化粧する」な

ど発音しやすい 20 語前後の漢語動詞を取り入れている。

中級の場合、クラス A と B で、前期は文法項目を 20～30 個取り上げ、後期からそれを活用しながら絵本や小説の翻訳に取り組んでいる。絵本や小説の場合、漢語動詞の使用は多くないが、翻訳に文法が必要であるため、後期に取り上げている。

主に文法項目を中心に作成された中級 A クラスの「読解」には、(1a) のような漢語動詞が用いられている。さらに、(1b) のような受身動詞の用法も見られる。

- (1) a. 결혼(結婚)하다・공부(工夫)하다・사용(使用)하다・생활(生活)하다・외출(外出)하다・운동(運動)하다・의미(意味)하다・작곡(作曲)하다・차용(借用)하다・해당(該当)하다
b. 발굴(發掘)되다・발효(醱酵)되다・추정(推定)되다

「短文解釈」というパートにもいくつかの漢語動詞が用いられている。

助詞の用法を中心に比較的簡単な内容で作成した私家版の中級テキストにも「발명(發明)하다」「일치(一致)하다」「주장(主張)하다」に加え、漢語動名詞 (Verbal Noun, 以下, VN と略する) の「기원(起源)⁽¹⁾」「소유(所有)」「재배(栽培)」「출발(出發)」も用いられている。

上級クラスも中級と同じ構成である。上級クラスの「読解」には、(2a) のような漢語動詞が用いられており、少なくはない。

- (2) a. 검색(檢索)하다・관리(管理)하다・구매(購買)하다・기억(記憶)하다・대기(待機)하다・대신(代身)하다・도모(圖謀)하다・반사(反射)하다・보호(保護)하다・사용(使用)하다・상징(象徵)하다・생산(生産)하다・생존(生存)하다・선정(選定)하다・성장(成長)하다・순례(巡禮)하다・시작(始作)하다・식사(食事)하다・예방(豫防)하다・원망(怨望)하다・유래(由來)하다・입학(入學)하다・저술(著述)하다・전달(傳達)하다・조작(操作)하다・존재(存在)하다・중시(重視)하다・지정(指定)하다・추월(追越)하다・탄생(誕生)하다・통칭(統稱)하다・확인(確認)하다・흡수(吸収)하다
b. 긴장(緊張)시키다・발효(醱酵)시키다・촉진(促進)시키다
c. 간주(看做)되다・구분(區分)되다・판매(販賣)되다
오해(誤解)받다・존경(尊敬)받다
무시(無視)당하다・비난(非難)당하다・추월(追越)당하다

上級クラスになると、(2b) のような使役動詞、(2c) のような受身動詞の用法も見られる。「短文解釈」というパートには中級より多くの漢語動詞が用いられている。

上級の後期に、韓国の短編小説「소나기」を訳しているが、「소나기」には異なり語数 155 の動詞の中で、(3ab) のように漢語動詞は 5 語しか用いられていない。「소나기」はもともと韓国で中学 1 年の教科書に出てきた小説であるため、漢語の使用自体が多くはない。

- (3) a. 1 字漢語動詞：3 語
변하다(變하다)：変わる
위하다(爲하다)：為にする，為である
피하다(避하다)：避ける
b. 2 字漢語動詞：2 語
대답하다(對答하다)：答える

시작하다(始作하다)：始める，始まる

これらの韓国語は漢語動詞であるが，対応する日本語はいずれも和語動詞の類である。この5つの漢語動詞は韓国の小説を対象にした尹亨仁（2019）の語彙調査でいずれも頻度が上位にあり，（3b）の2つは最も多く使われる漢語動詞であることが判明した。

3.2 韓国関連の新聞記事の翻訳

『朝日新聞』2021年11月6日（土）の朝刊1面には「韓国大統領選構図固まる」が載っており，この日の夕刊には「韓国文学 日本で読まれるわけは」という記事が載っていた。このように，政治的だけでなく文化的にも韓国関連の記事が日本の新聞に多く載るようになった。『朝日新聞』2021年11月7日（日）の朝刊には「人気の韓国発マスク「KF94」英語と数字はなんの意味」という記事もあった。近年毎日ではないが，日本の新聞の見出しに韓国関連の記事が増えていることは確かである。これから2022年3月9日に行われる韓国大統領選挙関連の記事も増えるはずである。

このような記事の中で，大学生が特に興味を持っているのは文化関連である。2020年日本で人気を博した韓国ドラマ「愛の不時着」は何度も学生たちに見たのかと聞かれ，その質問に答えるために見たほどである。この「愛の不時着」に関する記事も『朝日新聞』で2回以上取り上げられたので，授業で話題にした。

筆者は今回新聞記事の中で上級クラスの学生たちが興味を持ちそうな「韓国文学 日本で読まれるわけは」に用いられた漢語動詞を調べてみた。将来韓国小説の翻訳を考えている学生も増えてきているため，このような記事はいい教材の1つになる。授業ではコピーした記事を配布し，日本の漢語動詞に韓国語での読みを書き込むようにした。

（4） a. 漢語動詞としての用法：15語

影響する・活動する・推測する・制圧する・成人する・専攻する・追悼する・認識する・
反対する・共訳する・研究する・受賞する・登場する・売春する・発刊する

b. 漢語 VN のみの用法：19語

学習・共感・共有・経験・検閲・実験・執筆・支配・受賞・出版・消費・想像・注目・
独裁・努力・表現・不足・分断・翻訳

中には，（4a）の「影響する」のように，日本語では漢語動詞なのに，韓国語では漢語 VN の類もある。また，（4b）の「不足」のように，日本語では漢語 VN なのに，韓国語では漢語形容詞のものもある。このような機会に，上記のリストと一緒に尹亨仁（2019：9）での2字漢語動詞の上位20位までを提示して漢語動詞の類似性に気づいてもらったりしている。今後も韓国と関連する新聞記事の漢語動詞をピックアップし，リストを作成，配布して韓国語での読み方を記入させる方針である。

尹亨仁・車香春（2014）の韓日辞典の分析によると，漢語動詞の7割強が正の転移を呈している。筆者の日本語から韓国語の対応を捉えた簡易調査では，8割を超えていた。筆者としては，この研究結果に基づいて中級および上級の前期の「読解」のどこかに章を立ててレベルに合わせたリストを提示したい。しかし，このレベルに合わせた漢語動詞の体系的提示にはリストと選定の客観的根拠が必要である。

3.3 使役動詞と受身動詞への応用

中級以上のほとんどの韓国語の教材では，「使役」と「受身」の文法項目を立てている。使役3種類，受身5種類を取り上げるのが一般的である。初級というレベルが提示されているが，使役と受身を

取り上げている『韓国語レッスン初級Ⅱ』（2003：134-135）のような教材もある。

尹亨仁（2005）で「Ⅲ類の使役」と「Ⅲ類の受身」と分類されたグループに属する使役形と受身形は（5ab）のように漢語動詞との関わりが深い。

- (5) a. Ⅲ類の使役動詞：動詞性名詞 + -시키다
b. Ⅲ類の受身動詞：動詞性名詞 + -되다／-받다／-당하다

（5ab）での「動詞性名詞」が漢語動詞の語幹をなす漢語 VN である。中には、「노래시키다／歌わせる」や「빨래시키다／洗濯させる」のように固有語から派生した使役動詞も含まれるが、漢語 VN から派生した使役動詞や受身動詞が断然多い。筆者の場合、上級クラスで 3 種類の使役形と 5 種類の受身形を本格的に取り上げているが、（1b）のように中級レベルの教材にも用例が出てくるため、8 種類もあることに触れてはいる。

日本語の使役動詞の「VN-サセル」と受身動詞の「VN-サレル」には（5a）の「Ⅲ類の使役」と（5b）の「Ⅲ類の受身」が対応する場合が多く、その対応関係を大まかに示すと（6）のようになる。

- (6) VN-サセル形と VN-시키다形および VN-サレル形と VN-되다／-받다／-당하다形の対応

漢語 VN-サセル	≡	漢語 VN-시키다（Ⅲ類の使役）
漢語 VN-サレル	≡	漢語 VN-되다／-받다／-당하다（Ⅲ類の受身）

そもそも（6）の使役形と受身形の対応は（7）の対応関係から始まる。韓国語の使役構文と受身構文の場合、述語の接辞が「-하다」から「-시키다」と「-되다／-받다／-당하다」に交替する。尹亨仁（2005）によると、韓国語の使役構文および受身構文の派生関係は複雑であるが、日本語ほど派生が生産的ではない。

- (7) VN-スル形と VN-하다形の対応

漢語 VN-スル	≡	漢語 VN-하다
----------	---	----------

実際、（8kj）や（9jk）のような対応になる（以下、k は韓国語の文、j は日本語の文を表わす）。（8kj）は韓国語からの翻訳、（9jk）は日本語からの翻訳の例である。

- (8) k. ...가까운 인구 3 만의 작은 도시인 이곳에 한밤중에 도착(到着)했다.⁽²⁾
j. ...近い人口 3 万人の小さな都市であるこの町に真夜中に到着した。
(9) j. 昔風に表現すれば「筆一本で食べている」ということになります。⁽³⁾
k. 옛날식으로 표현(表現)하면 ‘붓 한 자루로 먹고살아왔다’ 는 얘기입니다.

3.4 韓国語各種検定試験への対応

日本にはハングル能力検定試験や韓国語検定試験などが導入・実施されており、これらの合格者には単位を与える場合や交換留学の条件にしている大学もある。本学もこのような制度を運用しているた

め、検定試験の合格を目指している学生は少なくない。

ハングル能力試験の 2019 年春季（第 50 回）と 2019 年秋季（第 51 回）の場合、中級レベルに相当する 3 級試験の筆記問題に、(10a) と (11a) のような漢語動詞が用いられていた。

(10) 2019 年春季（第 50 回）ハングル能力試験

a. 漢語動詞としての用法：18 語

감동(感動)・결석(缺席)・결혼(結婚)・계속(繼續)・고생(苦生)・공부(工夫)・도착(到着)・발표(發表)・방기(放棄)・설명(説明)・안심(安心)・이사(移徙)・이용(利用)・정리(整理)・제외(除外)・조심(操心)・통화(通話)・포함(包含)

b. 漢語 VN のみの用法：21 語

강조(強調)・개막(開幕)・계산(計算)・계획(計劃)・독서(讀書)・박수(拍手)・반응(反應)・방해(妨害)・번역(翻譯)・선물(贈物)・선택(選擇)・소개(紹介)・수영(水泳)・예정(豫定)・운동(運動)・운전(運轉)・인사(人事)・조사(調査)・초대(招待)・퇴근(退勤)・회의(會議)

(11) 2019 年秋季（第 51 回）ハングル能力試験

a. 漢語動詞としての用法：29 語

감사(感謝)・강조(強調)・거절(拒絶)・계속(繼續)・공부(工夫)・관리(管理)・긴장(緊張)・노동(勞動)・담당(擔當)・독립(獨立)・변경(變更)・복습(復習)・분실(紛失)・사용(使用)・상대(相對)・소개(紹介)・수술(手術)・연락(連絡)・예습(豫習)・예약(豫約)・운동(運動)・이동(移動)・이용(利用)・운전(運轉)・전화(電話)・참가(參加)・포기(拋棄)・처리(處理)・합격(合格)

b. 漢語 VN のみの用法：14 語

강의(講義)・검사(檢査)・결과(結果)・답장(答狀)・숙박(宿泊)・시험(試驗)・여행(旅行)・연락(連絡)・예약(豫約)・입학(入學)・전화(電話)・주사(注射)・출장(出張)・환전(換錢)

(10b) と (11b) のように漢語 VN としての用法も多く見られた。実施回によっては語数のばらつきも見受けられる。

中級レベルに相当する準 2 級の場合、2019 年春季（第 50 回）の試験に (12a) のような漢語動詞と (12b) のような漢語 VN が用いられていた。

(12) a. 漢語動詞としての用法：29 語

결정(決定)・경시(輕視)・고민(苦悶)・고생(苦生)・공부(工夫)・구입(購入)・노력(努力)・도착(到着)・발휘(發揮)・배송(配送)・보고(報告)・부탁(付託)・상대(相對)・성공(成功)・시작(始作)・연락(連絡)・연주(演奏)・예방(豫防)・유의(留意)・이동(移動)・이해(理解)・인상(引上)・정리(整理)・주문(注文)・주의(注意)・증가(增加)・체험(體驗)・추천(推薦)・취직(就職)

b. 漢語 VN のみの用法：21 語

계약(契約)・계획(計劃)・관광(觀光)・관리(管理)・단속(團束)・반품(返品)・봉사(奉仕)・부탁(付託)・사정(事情)・수상(受賞)・수속(手續)・안부(安否)・여행(旅行)・염려(念慮)・위반(違反)・정산(精算)・주문(注文)・주차(駐車)・학습(學習)・합격(合格)・활동(活動)

中には、「개선(改善)시키다」「향상(向上)시키다」のような使役動詞や「사용(使用)되다」「예상(豫想)되다」のような受身動詞も見られた。さらに、「기억력(記憶力)」「면허증(免許證)」「정류장(停留場)」「통지서(通知書)」「판단력(判斷力)」のように漢語 VN に他の語が結合して複合語をなす用法も見られた。

『バランス韓国語上級』(2022)ではタイトルの副題に「ハングル能力検定試験 3 級完全準拠」と書いており、索引に約 125 語の漢語動詞が提示されている。この語数は 1 つの目安としては参考になるが、筆者が上級で提示を想定している 285 語の半分以下である。

上級レベルに相当する 2 級の場合、2019 年春季(第 50 回)の試験に(13abcde)のように様々な漢語動詞が用いられていた。

(13) a. 漢語動詞としての用法: 55 語

고민(苦悶)・공생(共生)・기원(祈願)・당황(唐慌)・대여(貸與)・대출(貸出)・도착(到着)・동정(同情)・반납(返納)・반출(搬出)・발생(發生)・발휘(發揮)・번역(翻譯)・변상(辨償)・봉사(奉仕)・비판(批判)・사용(使用)・사죄(謝罪)・상상(想像)・선호(選好)・수긍(首肯)・시도(試圖)・실토(實吐)・양보(讓步)・언급(言及)・연락(連絡)・요리(料理)・우려(憂慮)・우승(優勝)・육식(肉食)・이동(移動)・이용(利用)・이해(理解)・인정(認定)・일치(一致)・자백(自白)・전념(專念)・전향(轉向)・제시(提示)・참가(參加)・추구(追求)・추리(推理)・추천(推薦)・출근(出勤)・파괴(破壞)・판매(販賣)・편곡(編曲)・해소(解消)・행동(行動)・화장(化粧)・확보(確保)・확인(確認)・활용(活用)・효도(孝道)・희생(犠牲)

b. 漢語 VN のみの用法: 47 語

감사(感謝)・감원(減員)・검열(檢閱)・결산(決算)・결합(結合)・경쟁(競爭)・경험(經驗)・계약(契約)・교대(交代)・기대(期待)・노력(努力)・대화(對話)・대회(大會)・무리(無理)・민박(民泊)・반응(反應)・발전(發展)・발표(發表)・번역(翻譯)・변명(辯明)・비판(批判)・식사(食事)・실수(失手)・야생(野生)・야영(野營)・약속(約束)・염원(念願)・요리(料理)・이해(理解)・인사(人事)・전화(電話)・절단(切斷)・조사(調査)・조작(操作)・조치(措置)・주장(主張)・지압(指壓)・착각(錯覺)・체험(體驗)・채식(菜食)・표현(表現)・합창(合唱)・해결(解決)・허락(許諾)・화장(化粧)・휴대(携帶)・휴강(休講)

c. 漢語 VN を含む複合語としての用法: 9 語

대화문(對話文)・뒷정리(-整理)・사용료(使用料)・사용자(使用者)・서술형(敍述形)・세탁소(洗濯所)・숙박객(宿泊客)・식생활(食生活)・저작권(著作権)

d. 漢語 VN + 되다: 6 語

감봉(減俸)・개설(開設)・개정(改正)・발전(發展)・저해(沮害)・전달(傳達)

e. 漢語 VN + 시키다: 1 語

부각(浮刻)

〈表 1〉で分かるように、レベルが上がるにつれ、漢語動詞の使用が増えている。このような現実的需要に対応するためにも、対策を講じる必要がある。

〈表 1〉 ハングル能力検定試験のレベル別 2 字漢語動詞の使用状況

級	レベル	大学平均レベル	漢語動詞	漢語 VN	VN-시키다	VN- 되다
3 級	中級	上級	18/29	22/14	—	—
準 2 級	中級	超級	29	20	—	—
2 級	上級	超級	55	47	1	6

『バランス韓国語上級—ハングル能力検定試験 3 級完全準拠』（2022）というタイトルからわかるように、ハングル能力検定試験 3 級は普通上級レベルになる。本学の場合もそうである。ハングル能力検定試験が提示しているレベルは同じテキストで週 2 回の授業を想定しているものと思われるが、筆者は週 1 回が多いと認識している。「準 2 級」以上は「超級」と呼ぶのが適切であると思っている。「ハングル能力検定試験 3 級完全準拠」と書いてあるが、これは文法項目での対応かもしれない。

ここまで、日本の大学での韓国語の授業における漢語動詞の需要と体系的導入の必要性について論じた。このような需要は今後さらに増えると思われる。漢語動詞は、筆者の経験上語彙同士の関連性と応用性が高いため、個別的ではなく体系的提示が効果的である。

以下では、上記の需要に応えるべく、段階的導入と体系的提示に必要な語彙選定のための取組みについて論じたい。

4. 漢語動詞の適切な提示のための取組み

第 3 節で漢語動詞の需要についていくつかの観点から取り上げたが、いずれにせよ、適切な語彙数を体系的に提示するためには、その客観的根拠が必要である。本節ではそれについて 2 つの観点から取り上げたい。

まずは、大学 4 年間必要な「基本漢語動詞の策定」の観点である。もう 1 つはその基本漢語動詞と連動する「頻度」の観点である。「基本漢語動詞」の策定には頻度という根拠が必要であり、またこの「基本漢語動詞」の策定と「頻度」をより客観的に捉えるには「語彙調査」が必要である。本稿で語彙調査の対象として選んだのは『デイリー日韓英辞典』（2017）と『朝日新聞』「社説」（2020 年）である。それについて詳しく取り上げる。

4.1 基本漢語動詞の策定

『デイリー日韓英辞典』（2017）には約 13,000 語が見出し語として載っている。筆者は今回、動詞全般に関する 1 つの目安を得るべく、見出し語から動詞だけを抽出して語種による下位分類を試みた。その内訳は〈表 2〉の通りである。動詞は 2,710 語で、全語彙数の 21% を占めている。

『デイリー日韓英』（2017）の語彙調査においては、見出し語に「VN-する」との共起表示があった場合のみカウントし、1,278 の 2 字漢語動詞が確認できた。「安眠」「育児」「意見」「位置」「遺伝」「飲食」「延滞」「開演」などは、『大辞林』（2019）では漢語動詞になっているが、漢語 VN のみ見出し語になっていた。

〈表2〉『デイリー日韓英辞典』（2017）の動詞の内訳

動詞の分類	2,710			
スル動詞	1,410	下位分類	語数	例
漢語動詞	1,312	1 字動詞	27	愛する・演じる・応じる・課する・感じる…
		2 字動詞	1,278	挨拶する・悪用する・悪化する・圧縮する・暗記する・暗殺する・暗示する・暗唱する・安心する・安定する・案内する…
		3 字動詞	5	再検討する・再利用する ⁽⁴⁾ ・商品化する ⁽⁵⁾ ・二等分する・立候補する
		4 字動詞	2	四捨五入する・途中下車する
外来語＋スル	44			アクセスする・アドバイスする・アプローチする・アルバイトする・アレンジする…
その他＋スル	54			合図する・味見する・厚着する・後始末する・言い訳する・家出する・居眠りする…
非スル動詞 (和語動詞)	1,300			会う・合う・和える・扇ぐ・煽る・明かす・上がる・諦める・飽きる・呆れる・空く…

大学4年間使えるハンディーサイズの辞書から得られたデータではあるが、中には「恐喝する」「湾曲する」なども含まれている。辞書での語彙調査からはどのような語彙をどのレベルで取り上げた方がいいのかについての根拠までは得られていない。

4.2 基本動詞策定のための頻度調査

張志剛（2014）は『読売新聞』（2010年）に用いられた漢語動詞を調べ、4,383の2字漢語動詞について分析を行なっている。小林英樹（2004：24）は『朝日新聞』社説（1989年）に用いられた漢語VNについて1,440の異なり語数を提示している。

本稿では、実際どのような漢語動詞がどの程度用いられているのか、その「頻度」を調べるべく『朝日新聞』の社説の1年分（2020年）の語彙調査を行なった。

『朝日新聞』には週に約6回（月曜日～土曜日）、社説が載っており、日によって1～2のテーマが取り上げられる。2020年は全626個であった。その調査の結果を〈表3〉にまとめた。

〈表3〉『朝日新聞』「社説」（2020）の2字漢語動詞の語彙数

年度	社説数	延べ語数	異なり語数
2020	626	7,262	1,228

2020年の「社説」から延べ語数が7,262語、異なり語数1,228語が得られたが、小林（2004）の調査結果の1,440より少ない。参考として、2019年には646個のテーマから延べ語数7,263語、異なり語数1,272語が得られた。現在調査中の2021年のデータも2019年および2020年の数値に近いと見ている。

4.3 『朝日新聞』「社説」（2020）にみる語彙の特徴

どのような漢語VNが用いられているのか、〈表4〉で上位30語を提示する。〈表4〉の2019年と

2020 年の上位 30 語のうち, (14) の 24 語が共通している。2020 年には 30 位以内に入ったものの 2019 年には入っていない「直面する」「活用する」「支援する」「拡大する」「評価する」「想定する」も 2019 年にそれぞれ 40 位, 61 位, 35 位, 43 位, 74 位, 42 位の頻度で用いられていた。この結果から, 少なくとも 30 位までの漢語動詞は新聞の社説には常に用いられていると言えそうである。(14) の 24 語を細かく見てみると, (14a) は日韓両言語で正の転移を示す漢語 VN であり, (14b) は負の転移を示す漢語 VN である⁽⁶⁾。

- (14) a. 検討・説明・表明・判断・指摘・公表・共有・協調・発表・対応・実現・認識・主張・協力・維持・確保・優先・検証・利用・実施・批判・否定
b. 議論・徹底

〈表 4〉『朝日新聞』『社説』(2020) の 2 字漢語動詞上位 30 語の頻度

2020/頻度	漢語動詞	対応する韓国語	2019/頻度	漢語動詞	対応する韓国語
147	検討する	검토(検討)하다	122	検討する	검토(検討)하다
113	説明する	설명(説明)하다	101	指摘する	지적(指摘)하다
98	表明する	표명(發生)하다	98	説明する	설명(説明)하다
90	判断する	판단(判断)하다	95	表明する	표명(發生)하다
89	指摘する	지적(指摘)하다	83	公表する	공표(公表)하다
76	公表する	공표(公表)하다	78	強調する	강조(強調)하다
76	共有する	공유(共有)하다	67	批判する	비판(批判)하다
68	強調する	강조(強調)하다	66	共有する	공유(共有)하다
65	発表する	발표(發表)하다	65	議論する	논의(論議)하다
63	対応する	대응(對應)하다	65	主張する	주장(主張)하다
56	実現する	실현(實現)하다	63	確認する	확인(確認)하다
54	認識する	인식(認識)하다	62	判断する	판단(判断)하다
51	主張する	주장(主張)하다	61	対応する	대응(對應)하다
48	協力する	협력(協力)하다	60	発表する	발표(發表)하다
48	維持する	유지(維持)하다	59	実現する	실현(實現)하다
45	確保する	확보(確保)하다	51	否定する	부정(否定)하다
44	直面する	직면(直面)하다	47	認識する	인식(認識)하다
43	優先する	우선(優先)하다	45	実施する	실시(實施)하다
40	活用する	활용(活用)하다	44	徹底する	철저(徹底)하다
40	支援する	지원(支援)하다	43	検証する	검증(檢證)하다
40	検証する	검증(檢證)하다	41	提出する	제출(提出)하다
38	拡大する	확대(擴大)하다	41	優先する	우선(優先)하다
38	利用する	이용(利用)하다	37	確保する	확보(確保)하다
38	実施する	실시(實施)하다	36	利用する	이용(利用)하다
38	議論する	논의(論議)하다	35	維持する	유지(維持)하다

37	批判する	비판(批判)하다	35	尊重する	존중(尊重)하다
36	評価する	평가(評價)하다	34	協力する	협력(協力)하다
36	想定する	상정(想定)하다	34	無視する	무시(無視)하다
35	否定する	부정(否定)하다	33	期待する	기대(期待)하다
34	徹底する	철저(徹底)하다	33	合意する	합의(合意)하다
+ 5,538			+ 5,529		
合計 7,262			合計 7,263		

『朝日新聞』の「社説」の場合、近年漢語動詞は年間平均 1,200～1,300 語の間で推移しているようである。しかしこの数が共通する語彙数かというところではない。2019 年と 2020 年の場合、延べ語数が 2,500 語で、異なり語数は 1,636 語である。数百語の交替があるということである。筆者はこの傾向の結果を『朝日新聞』の「社説」の 3 年間（2019–2021）の語彙調査に託している。これについては、調査時期と紙幅の問題があるため、別稿に譲りたい。

4.4 レベルの策定と適切な語彙数の選定

韓国語の授業で〈表 4〉のリストに共通して見られる頻度の高い漢語動詞を学習者に提示するのも学習効果を高める一つの方法であると考えられる。しかし、リストを見ると中級や上級で主に取り上げている読解の漢語 VN と距離がある。筆者は現在 2 つの辞書の語彙調査から得た 1,290 語を《基本漢語動詞 1290》と名付け、中級と上級の授業で提示するための更なる選定作業を進めている。中級の場合は 140 語、上級の場合は 285 語を想定しており、いずれも異なり語数である。これらは日本語からも、韓国語からも同じ漢語 VN が対応して正の転移につながるものに限定している。ここに『朝日新聞』の 3 年間の「社説」（2019–2021）の中から頻度の高いものを * の数で示し、初級レベルでの 50 語を含む正の転移 470 語と負の転移 30 語での構成を試みている。また、これには (3b) で取り上げた韓国語では漢語動詞であるが、日本語では和語動詞であったりまたは違う動詞になる、いわば負の転移につながる 50 語を加える予定である。これを以て、日本の大学における漢語動詞の需要に応えたい。しかし、この語数は《基本漢語動詞 1290》の半分以下である。これを補うための方法として言語景観からの取組みを考えている。

5. 広がる言語景観と視覚教材としての活用

筆者は上記での漢語動詞の習得をより身近なものにすべく、言語景観をもう 1 つの教材として導入し、活用を試みている。実際、漢語動詞は辞書や新聞記事のみならず日常にも多く用いられているため、私たちは至るところで目にしている。

5.1 漢語 VN が持つ情報伝達の機能

漢語 VN は和語や外来語と違ってコンパクトに情報伝達が可能である。そのため、漢語 VN は生活と密着している。

語彙調査に基づいて「基本漢語動詞 500」（仮称）が提示できたとしても、『朝日新聞』『社説』のリストに載っている漢語動詞の数には及ばない。これを補う形で言語景観を積極的に活用したい。この言語景観からのアプローチは学生たちの反応もよく実用性も高いため、筆者としては多くの韓国語の授業

で活用してほしいと思っている。

5.2 日本の言語景観と漢語 VN

2021 年現在、空港や駅をはじめ、日本の多くの公共施設では日本語に加え英語・中国語・韓国語の 4 言語表示が基本になっている。本学の初級共通教材の『ワンフレーズコリアン 1』で取り上げているように、羽田空港や駅などでは〈図 1〉の「出発／출발」「到着／도착」「案内／안내」の漢語 VN の使用が見られる。



図 1 出発・到着・案内（羽田空港）

これ以外にも（15）のような用法が日本の空港や駅で見られた。

- (15) 금연(禁煙)・운행(運行)・이용(利用)・작동(作動)・정산(精算)・제공(提供)・주의(注意)・주차(駐車)・탑승(搭乗)・피난(避難)・휴관(休館)

2021 年に 4 度訪れた成田空港からは〈図 2〉～〈図 4〉の「出発・使用・予約」の漢語 VN の使用が見られた。筆者はこのような言語景観の写真を多く提示し、両言語間の漢語の対応に関心と呼びかけている。



図 2 出発／출발(出発)



図 3 使用／사용(使用)



図 4 予約／예약(予約)

言語景観を用いて韓国語の語彙力を向上させることの有効性についてはすでに尹亨仁（2021）で論じられた。本稿ではそこから 1 歩進んだ形での取組み，とりわけ蒐集対象の品詞を動詞，とりわけ「漢語動詞」と「漢語 VN」に絞ることを考えている。そうすることで，蒐集対象が散漫にならずより集中的で効果的な結果が得られると見通している⁽⁷⁾。

5.3 複合語の活用

「基本漢語動詞 500」(仮称)が完成できたとしても、〈図 5〉～〈図 8〉の「精算」「消火」「祈禱」「避難」などは含まれない。しかし、図で見えるように日常では必要な漢語 VN である。しかも複合語の「精算機」「消火器」はよく目にするものである。これと一緒に「計算機」「洗濯機」「掃除機」「飛行機」なども取り上げられる。いずれも漢語 VN が含まれている。



図 5 精算機／정산기(精算機)(横浜)



図 6 消火器／소화기(消火器)(横浜)

〈図 7〉の「기도실」の「기도」も《基本漢語動詞 1290》に含まれていないが、韓国語の中ではよく使われる。日本語には「祈る」という和語があるためであろう。「祝賀会」に用いられる「祝賀」も韓国語の中では頻度が高いが、日本語には「祝う」があるためなのか、《基本漢語動詞 1290》に含まれていない。このようなずれは言語景観から補っていきたい。〈図 8〉の避難場所の「避難」も東日本震災以後重要な単語になっている。



図 7 祈禱室／기도실(祈禱室)(羽田空港)



図 8 避難場所／피난장소(避難場所)(横浜)

5.4 負の転移への注意

〈図 9〉の「故障」や〈図 10〉の「両替」の場合、日韓両言語間では負の転移の対応になる。負の転移の場合、正の転移に比べ、習得が難しいし、母語干渉を起こしやすい。このような視覚教材による提示は学習により効果的であると思われる。

〈図 11〉の「取扱」や〈図 12〉の「とりけし」「よびだし」はいずれも韓国語では漢語動詞であり、特にこの 3 語は「韓国語からの負の転移 50 語」に含まれるほど使用頻度が高い。言語景観を用いて導入し、しっかり覚えてもらいたい。これらの負の転移を整理すると (16) のようになる。

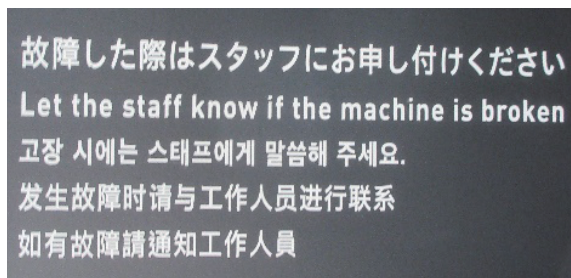


図9 故障／고장（福岡）



図10 両替／환전（成田）



図11 取扱（横浜）



図12 よびだし・とりけし（横浜駅）

- (16) a. 日本語からの負の転移
故障する：고장(故障)이 나다
両替する：환전(換錢)하다
- b. 韓国語からの負の転移
취급(取扱)하다：取り扱う 취급(取扱)：取扱
취소(取消)하다：取り消す 취소(取消)：取消
호출(呼出)하다：呼び出す 호출(呼出)：呼出

5.5 広がる応用性

筆者は〈図13〉と〈図14〉の「駐車」と「禁止」を初級レベルの漢語動詞として提示している。これらは、日常の中で〈図15〉を含む多くの形で目にするからである。



図13 駐車禁止（横浜）

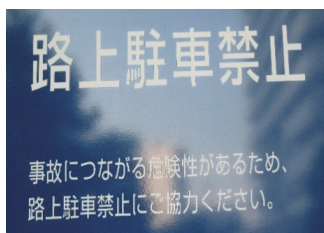


図14 路上駐車禁止（横浜）



図15 駐車場（羽田）

〈図16〉～〈図18〉を見てみよう。いずれも禁止に関連する言葉で、「禁止／금지」を覚えておくといつでも適用できる⁽⁸⁾。

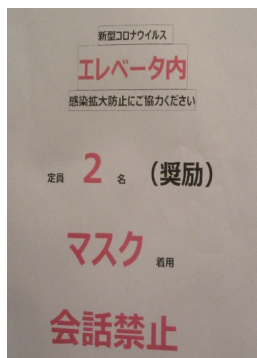
図 16 会話禁止⁽⁹⁾ (横浜)

図 17 横断禁止 (横浜)



図 18 進入禁止 (横浜)

5.6 課題を通しての学習効果の確認

筆者は初級の授業で、文字の学習が終わったところで、最寄り駅か、よく利用する駅の案内に表示されている韓国語の写真2枚に韓国語を5回添えて提出させている。学生たちの反応は非常によく、他の韓国語の写真まで出してくれる学生も複数いる。

中級や上級の場合も、配布した漢語動詞のリストに基づいて、漢語動詞探しをしてもらう計画を立てている。2021年度は韓国のラーメンのパッケージの翻訳に取り組んだが、反応がよくて、今後全クラスに拡大するつもりである。ラーメンのパッケージも民間表示としての言語景観の一部であり、このような参加型の授業は結果物を通して学生同士で確認もできるため、学習効果がより高いと思っている。

ここまで、漢語動詞の習得に言語景観からの導入が有効であることについて論じた。言語景観は活用次第、語彙力の向上に役立つが、何より学生の参加が積極的なので、学習効果は予想以上になると期待している。

6. 終わりに

本稿では、日本の大学における韓国語の語彙教育、とりわけ漢語動詞の需要と段階的導入において有効な取組みについて論じた。また体系的提示のためには語彙調査が必要で、大学4年間必要な「基本漢語動詞の策定」の観点と「頻度」の観点から語彙調査を行なった。『デイリー日韓英辞典』(2017)からは1,278の2字漢語動詞が得られた。これに頻度の印(***)をつけ、「基本漢語動詞500」(仮称)として韓国語の教育現場に還元したい。足りない部分は日本中に広がっている言語景観を活用して補う方法を提案した。

「基本漢語動詞500」(仮称)の策定は『朝日新聞』社説(2021年)の調査結果を加えて完成する予定である。今後の課題にしたい。

* 本研究は、JSPS 科研費 19K00775 の助成を受けたものである。

参考文献

- 金京子 (2022) 『バランス韓国語上級一ハングル能力検定試験3級完全準拠』朝日出版社
- 金東漢・張銀英 (2003) 『改訂版韓国語レッスン初級Ⅱ』スリーエーネットワーク
- 小林英樹 (2004) 『現代日本語の漢語動名詞の研究』ひつじ書房
- 張志剛 (2014) 『現代日本語の二字漢語動詞の自他』くろしお出版

- ハングル能力検定協会 (2019) 『2019 年版ハン検過去問題集 3 級』
- ハングル能力検定協会 (2019) 『2019 年版ハン検過去問題集準 2 級』
- ハングル能力検定協会 (2019) 『2019 年版ハン検過去問題集 2 級』
- 尹亭仁 (2005) 「韓国語と日本語のヴォイス構文に関する対照研究—動作主の格標示と構文の生産性を中心に」、
東京大学大学院総合文化研究科博士論文
- 尹亭仁 (2019) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査—『李箱文学賞作品集 2006-2015』の分析を中心に—」『神奈川大
学言語研究』 41, pp. 1-30, 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁 (2021) 「日本における韓国語の言語景観と活用の可能性—韓国語の漢語語彙力の向上の観点から—」『神
奈川大学言語研究』 43, pp. 1-34, 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁・車香春 (2013) 「韓国語と日本語の 2 字漢語動詞に関する一考察—韓日辞典に見られる異同を手がかり
に」『神奈川大学言語研究』 36, pp. 1-24, 神奈川大学言語研究センター
- 尹亭仁・崔英姬 (2018) 「韓国語の漢語動詞の語彙調査 (1) —『中央日報』の社説 (2016 年 1 月～12 月) の分
析を中心に—」『神奈川大学言語研究』 40, pp. 129-151, 神奈川大学言語研究センター
- 須賀井義教 (2019) 『確認しながらおぼえる韓国語基本単語帳』朝日出版社

【小説】

〈韓国語〉

이승우 (2009) 『한낮의 시선』, 자음과 모음

무라카미 하루키 (2015) 『직업으로서의 소설가』 (양윤옥 옮김) (2015), 현대문학

〈日本語〉

李承雨 (2013) 『真昼の視線』 (金順姫訳), 岩波書店

村上春樹 (2015) 『職業としての小説家』, SWITCH LIBRARY

【辞書】

〈日本語〉

赤須薫編 (2018) 『コンパスローズ英和辞典』研究社

小泉保他編 (1989) 『日本語基本動詞用法辞典』大修館書店

佐竹秀雄・三省堂編修所編 (2010) 『デイリーコンサイス国語辞典 [中型版]』第 5 版 三省堂

三省堂編修所編 (2017) 『デイリー韓日英辞典 [カジュアル版]』三省堂

松村明編 (2019) 『大辞林』第 4 版 三省堂

尹亭仁編 (2009) 『デイリーコンサイス韓日辞典』三省堂

【新聞】

『朝日新聞』「社説」(2019), 朝日新聞社

『朝日新聞』「社説」(2020), 朝日新聞社

注

- (1) 「起源」は、日本語では漢語 VN であるが、韓国語では漢語動詞である。7,000 語以上ある漢語動詞の中には、主に漢語動詞として用いられるもの、漢語動詞としても、漢語 VN としても用いられるもの、主に漢語 VN として用いられるものなど、振る舞いは様々である。
- (2) 이승우／李承雨 (2009) 『한낮의 시선』, p. 7 とその日本語対訳版より引用した。
- (3) 村上春樹 (2015) 『職業としての小説家』, p. 18 とその韓国語対訳版より引用した。
- (4) 『デイリー日韓英』(2017: 262) では「再利用」が漢語動詞になっているが、『大辞林』(2019:1073) では漢語名詞になっている。『コンパスローズ英和辞典 (2018: 1532)』の recycle には「再利用する」の訳がついている。このような分類のずれは多くの辞書に見られる問題である。
- (5) 『デイリー日韓英』(2017: 336) では「商品化」が漢語動詞になっているが、『大辞林』(2019: 1349) と『デイリーコンサイス国語辞典』(2010: 389) では漢語名詞である。『コンパスローズ英和辞典 (2018: 354)』の commercialize には「商品化する」の訳がついている。筆者のような外国人日本語学習者は辞書から判断根

拠を得ているが、このようなばらつきには困惑する。

- (6) 日韓両言語の間にどのような負の転移が見られるかについては、尹亭仁(2015)を参照されたい。
- (7) 筆者は2014年度、アメリカでの在外研究時にニューヨークに住みながら「ニューヨークの街角の英単語3000」(仮称)という資料集を作った。品詞は関係なく集めていたが、教育用語集としては動詞・形容詞・前置詞が有効であることが分かった。今年度本学の3年次を対象としたゼミでこれを、実践しており、20人の学生の反応は良好である。「言語景観を生かしての外国語の学習」という取組みに多くの学生が興味を持っていることが確認できた。
- (8) ある学生は、アルバイト先の店内に10以上の禁止表示が出ていると報告した。彼にとってアルバイト先はいい練習の場になっていると思っている。
- (9) このポスター1枚に「禁止」以外に「感染」「拡大」「防止」「協力」「奨励」「着用」「会話」の7つの漢語VNが使われている。